

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
専攻ダンススキル3											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	安藤未緒			実務経験	有	職種	ヴォーカリスト				
担当教員紹介											
91年に渡米、米国パークリー音楽院に入学、ジョアン・ホイットカー、マギー・スコットら数々のアーティストを手 掛けた講師陣に師事、ヴォーカリストとしてのボディ・エクササイズや発声法を学ぶ。 自身もヴォーカリストとして活動を続けながら、独自のヴォイストレーニング法をまとめあげ、ボストン・ニュー ヨークにおいてヴォイストレーナーとして活躍。 帰国後、06年にパーフェクトヴォイス大阪校、東京校を開校し、アーティストのヴォイストレーニングを手掛けるほか、企業向けヴォイス講習でも定評がある。 現在も、国内外の芸能全般、新人育成からアーティスト、俳優、タレント、モデルまで幅広く育成している。											
授業概要											
このレッスンではダンスボーカリストとして必要な発声や歌唱実習、リズムトレーニングを中心にグループでのアンサンブルやダンスの構成まで総合的に学びます。ボーカルダンスを意識した呼吸法の習得を第一とし、その後の応用としてオーディション対策やグループを形成し発表を行います。授業以外でも毎日実践できる体操や呼吸法を授業内で指導しますので、自主練習をすることでより技術の習得ができます。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
ボーカルの基礎となる呼吸法を習得するための演習を行います。必要に応じて課題曲の発表やグループでのアンサンブルを実施します。応用としてのステージング指導を行っていきます。実際にスタジオを使用しての発表会も予定しており、基礎的な授業から実践的な授業まで受ける事ができます。											
成績評価方法											
試験・課題レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要のある場合はプリントを配布する											
回数	授業計画										
第1回	メソッドについての説明、個々のスキルチェック										
第2回	基本を理解する（チェストヴォイス、ヘッドヴォイス）										
第3回	基本を習得する（チェストヴォイス、ヘッドヴォイス）										
第4回	基本を理解する（実践）										
第5回	基本を習得する（発表）										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
専攻ダンススキル3	
第6回	歌唱実習①/個人練習
第7回	歌唱実習②/個人発表準備（ダンス付）
第8回	歌唱実習③/発表
第9回	課題曲を使ってのトレーニング①
第10回	課題曲を使ってのトレーニング②
第11回	課題曲を使ってのトレーニング③
第12回	ステージ発表準備①/グループの決定、曲の決定、担当分け
第13回	ステージ発表準備②/実践練習
第14回	ステージ発表
第15回	総評まとめ